

川上ダム通信

2023
2
月号



令和4年5月1日に
設立60周年を迎えました

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

【名張事務所】☆お問い合わせはこちら

〒518-0413 三重県名張市下比奈知 2811-2 TEL: 0595-52-3690 (代)

【管理棟】〒518-0298 三重県伊賀市阿保 2171-12

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



Vol. 211
Since 2005



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中！

https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ

<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

川上ダムの堤頂と左右岸天端広場を 開放しました！！

令和5年1月12日(木)午前7時より、堤頂及び左右岸天端広場を一般開放しました。午前7時の開放時点では寒さが厳しかったものの、天候にも恵まれ、日中は気温も上がり、絶好の散策日和となったことから、平日にも関わらずたくさんの方々にご来場いただきました。

また、ダムカードはこれまで比奈知ダム(名張市)にて配布しておりましたが、一般開放に併せてダム管理棟にて配布することとなりました。これにより、さらに川上ダムを身近に感じていただけるものと思います。

なお、堤頂及び左右岸天端広場のご利用に係るお願いと、ダムカードの配布方法については、川上ダム建設所ホームページで詳しくお知らせしております。

地域の皆さまの憩いの場となるよう願っております。



広場にはベンチもあり、ダムを眺めることができます♪



ようこそ川上ダムへ！



堤頂をお散歩される方も多く見られました。

【総務課 奥野紗江】

ダム管理用制御処理設備(ダムコン)について

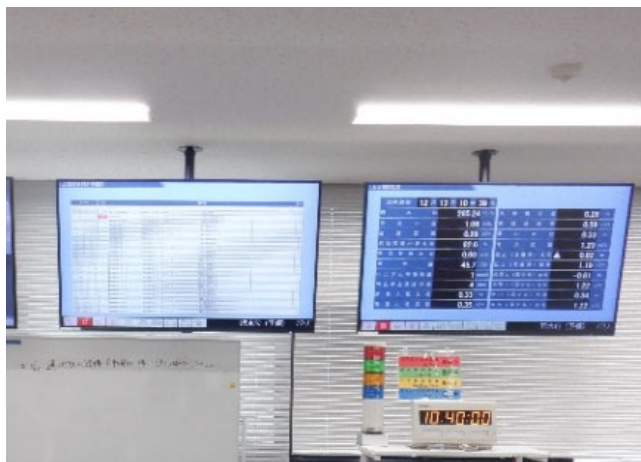
ダム管理する上で欠かすことのできないダム管理用制御処理設備(通称:ダムコン)についてご紹介します。ダムコンは複数のコンピュータ、モニター、プリンター等で構成されており、ダムの水を放流する水門設備の操作制御を始め、放流する水の量やダムに流れてくる水の量をコンピュータで演算して記録表示します。また、ダム周辺に設置している水位計や気象観測などダム管理に必要なデータを集計して記録し、ダムに関する記録データの一部を『川の防災情報※』へ伝送する機能も有しています。

ダムコンは“ダムの頭脳”と呼べる重要な設備であり、ダムコンにより安全なダム管理ができます。

ダムコンは試験湛水が開始した令和3年12月から運用を開始しています。

※『川の防災情報』は国土交通省が提供している河川、雨量情報をリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。川上ダムの貯水位等の情報も閲覧することができます。

川の防災情報 URL : <https://www.river.go.jp/index>



ダムコン(情報端末)



ダムコン(無線装置)

【機械課 後 雄貴】

見学会の実施 ~建設技術講習会~

令和5年1月11日(水)~13日(金)の日程で、一般社団法人全日本建設技術協会が主催する建設技術講習会が三重県内で開催され、13日に現地研修として大型バス8台で約170名の方が川上ダム建設所に来所されました。

現地研修では左岸天端広場で川上ダムの概要を説明したあと、堤頂を右岸側に渡りながら試験湛水中のダム湖面や水質保全設備、堤体建屋などを説明しました。



説明のようす(左岸天端広場)



見学の様子

参加者からは流入水バイパスの構造や、異常洪水時の洪水調節方法等、多くの質問がありました。

この日は前日に一般開放されたばかりで周辺はきれいに整備されており、貴重な経験として思い出になって頂ければ嬉しく思います。

【工務課 松浦 旬】



流入水バイパス 工事完了！！



この度、皆さまのお陰をもちまして、川上ダム流入水バイパスの取水堰（堤高8m、堤頂長56mのコンクリート構造物）の工事が完了しました。

流入水バイパスとは、ダム上流の水を貯水池に溜めずに直接ダム下流へ放流するための施設です。川上ダムでは、秋から冬にかけてダムからの放流水温が河川水温よりも高くなることを見込まれているため、流入水バイパスを通じて河川水を下流に放流して、下流に生息する生物への影響の少ないダムの運用を目指しています。

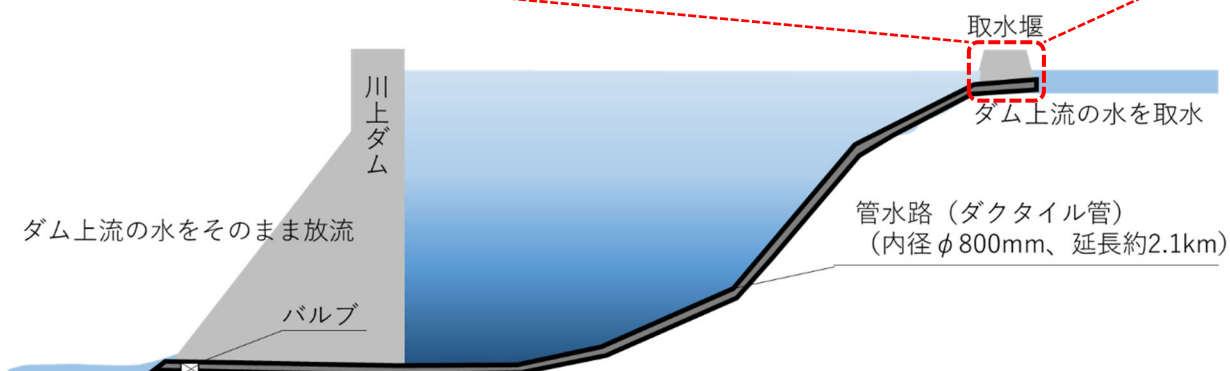
流入水バイパスには、取水堰の点検や排砂を行うために水門設備が設置されています。



上空からの取水堰の全景。右が上流、左が下流



右岸下流部からの写真



【工事課 山下祥平】



12月の安全協議会について



安全講習会のようす

当建設所では、工事現場の安全点検や受注者への指導などを目的として年に5回、安全協議会を開催しています。

12月22日（木）に実施した今年度第4回目の安全協議会では、労働安全コンサルタントの講師による、労働災害を未然に防ぐ内容の安全講習会をおこないました。

今年度も残り少なくなりました。引き続き安全に気をつけ、事業に取り組んでまいります。

【工務課 山田 聖】

大村神社で安全祈願をしてきました



令和5年1月4日（水）、川上ダム建設所の職員有志一同にて、伊賀市阿保の大村神社に、旧年の感謝を捧げるとともに、令和5年の年頭に当たり、川上ダムの竣工祈願並びに事業の安全を祈禱してきました。

試験湛水のほか、工事も着々と進んでいます。事業完了に向け、職員一同あらためて気を引き締め、安全に事業を進めてまいります。
【総務課 田島 哲】



安全を祈禱してきました

天端広場にあるオブジェクトのご紹介



左右岸天端広場にあるオブジェクトの一部をご紹介します。
右岸天端広場側の堤頂端部には、ダム湖名が記されている親柱を設置しています。

左岸天端広場にはダム建設事業で実際に使用されたものと同じ監査廊プレキャスト部材と流入水バイパスで用いた敷設管（ダクタイル管）を設置しています。この管には、以前のイベント参加者にかいていただいた様々な「思い」が記されています。また、今後、ダム湖内でとれた石に湖名を記し、湖名碑として設置する予定です。

その他にも魅力的なオブジェクトがありますので、ぜひ訪れてみてください。
【工務課 山田 聖】



右岸天端広場にある親柱



監査廊プレキャスト部材と流入水バイパス管（ダクタイル管）



湖名碑設置予定箇所

編集後記

2023年も早一月が経ち、皆さまいかがお過ごしでしょうか。筆者は、終了間際のダム建設現場を管理棟からみて、目まぐるしく変化していくように驚いております。

皆さまも体調を崩さぬよう、健康にお気をつけてお過ごしください。

【広報誌発行事務局】

編集長 津久井（所長）

デスク 田島（総務課長） 松浦（工務課長）

記者 奥野（総務課） 北爪（管理課） 近藤（用地課） 山田（工務課） 山下（工事課） 土屋（機械課）